

令和3年10月1日から
令和4年3月31日まで } 財政状況目次

まえがき

- 1 令和3年度予算について
- 2 令和3年度歳入歳出予算の執行状況について
 - (1) 一般会計歳入歳出予算の執行状況
 - (2) 消防指令センター特別会計歳入歳出予算の執行状況
 - (3) 基金
- 3 組合債及び一時借入金について
 - (1) 組合債
 - (2) 一時借入金
- 4 消防組合有財産について
- 5 令和4年度当初予算について
 - (1) 予算編成における基本的な考え方
 - (2) 一般会計歳入歳出予算の状況
 - (3) 消防指令センター特別会計歳入歳出予算の状況

むすび

ま え が き

海部南部消防組合の財政状況につきましては、毎年2回歳入歳出予算の執行状況等を公表しております。

今回は、令和3年度下半期における予算の執行状況並びに令和4年度の当初予算の概要について説明し、地域住民の皆様にご理解いただくとともに、今後の消防行政の運営に積極的な御協力をお願いしているものです。

1 令和3年度予算について

令和3年度の予算は、第1表のとおりです。

一般会計は、当初予算額1,036,979千円に対し、31,832千円を増額補正したことにより、9月末現在の予算額は、1,068,811千円となり、最終予算額も9月末現在の予算額と同額の1,068,811千円です。

消防指令センター特別会計は、補正額はありませので、当初予算額と同額の89,869千円が最終予算額です。

第1表 令和3年度予算の概要

(単位:千円)

区 分	当 初 予算額 A	9月末現在 予算額	補正額	最 終 予算額 B	% B/A
一 般 会 計	1,036,979	1,068,811	0	1,068,811	103.1
消防指令セン ター特別会計	89,869	89,869	0	89,869	100.0

2 令和3年度歳入歳出予算の執行状況について

(1) 一般会計歳入歳出予算の執行状況

一般会計における令和4年3月31日現在の執行状況は、第2表及び第3表のとおりです。

まず歳入(第2表)についてみますと、収入済額1,073,819千円で予算現額に対し100.5パーセントの収入率で、その内訳は、構成市村からの分担金及び負担金940,000千円、使用料及び手数料32,211千円、国庫支出金1,930千円、財産収入448千円、繰入金413千円、繰越金88,130千円、諸収入10,687千円です。

次に歳出(第3表)では、支出済額981,168千円で予算現額に対し91.8パーセントの執行率で、その内訳は、議会費139千円、総務費131,914千円、消防費849,115千円です。

なお、令和3年度予算の収入・支出は、出納整理のため令和4年5月31日まで引き続き行われます。

第2表 令和3年度一般会計予算執行状況 [歳入]
(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	予算現額	収入済額	収入率 %
分担金及び負担金	940,000	940,000	100.0
使用料及び手数料	22,590	32,211	142.6
国庫支出金	1,975	1,930	97.7
県支出金	1	0	0.0
財産収入	31	448	1,445.2
寄附金	1	0	0.0
繰入金	5,413	413	7.6
繰越金	88,129	88,130	100.0
諸収入	10,671	10,687	100.0
合計	1,068,811	1,073,819	100.5

第3表 令和3年度一般会計予算執行状況 [歳出]
(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	予算現額	支出済額	執行率 %
議会費	459	139	30.3
総務費	157,750	131,914	83.6
消防費	908,739	849,115	93.4
予備費	1,863	0	0.0
合計	1,068,811	981,168	91.8

(2) 消防指令センター特別会計歳入歳出予算の執行状況

消防指令センター特別会計における令和4年3月31日現在の執行状況は、第4表及び第5表のとおりです。

歳入の内訳は、津島市、愛西市、蟹江町及び海部東部消防組合からの負担金73,482千円、海部南部消防組合一般会計からの繰入金16,383千円、諸収入2千円です。

歳出は、支出済額23,624千円で予算現額に対し26.3パーセントの執行率ですが、消防通信指令設備保守点検整備業務委託料、消防救急デジタル無線システム保守点検整備管理業務委託料などの支払が令和4年4月28日によるものです。

なお、令和3年度予算の収入・支出は、出納整理のため令和4年5月31日まで引き続き行われます。

第4表 令和3年度消防指令センター特別会計予算執行状況 [歳入]
(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	予算現額	収入済額	収入率 %
分担金及び負担金	73,482	73,482	100.0
国庫支出金	1	0	0.0
繰入金	16,383	16,383	100.0
繰越金	1	0	0.0
諸収入	2	2	100.0
合計	89,869	89,867	100.0

第5表 令和3年度消防指令センター特別会計予算執行状況 [歳出]
(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	予算現額	支出済額	執行率 %
消防指令センター費	87,934	23,624	26.9
諸支出金	15	0	0.0
予備費	1,920	0	0.0
合計	89,869	23,624	26.3

(3) 基金

基金は、法令の定めに基づく資金の積み立て、又は運用を行うもので、当組合には財政の年度間調整のための財政調整基金があります。

令和4年3月31日現在における基金の状況は、第6表のとおりです。

第6表 基金の状況

(単位:千円)

区 分	令和3年9月 30日現在高	令和3年10月1日から 令和4年3月31日まで		令和4年 3月31日 現在高
		積立金	取崩額	
財政調整基金	332,654	29	0	332,683

3 組合債及び一時借入金について

(1) 組合債

組合債は、消防車両の購入や庁舎建設など多額な費用を一時に必要とする事業の財源として、組合の信用において長期の資金の借入を行うもので、令和3年度中の組合債の発行は、ありません。

令和4年3月31日現在の組合債残高は、ありません。

(2) 一時借入金

一時借入金は、分担金及び負担金、国庫支出金、県支出金等の収入が、これらを財源とする事業費等の支払時期と必ずしも一致しないため、歳計現金に一時的な不足が見込まれるとき、その不足を補うために借入れる資金をいい、年度内の収入をもってこれを返済しなければならないもので、令和3年度中の一時借入金は、ありません。

4 消防組合有財産について

消防組合有財産の取得、管理、処分等については、常に万全を期し、住民の皆様の利益と行政目的に沿うよう有効適切な運営をしています。

第7表は、令和4年3月31日現在の消防組合有財産の状況です。

第7表 消防組合有財産の状況

区 分		数 量		
		令和4年3月31日 現在 (A)	令和3年9月30日 現在 (B)	差 引 (A) - (B)
土地	本 署	13,734.79 m ²	13,734.79 m ²	0 m ²
	分 署	5,055.0 m ²	5,055.0 m ²	0 m ²
建 物	本 署	2,062.02 m ² (475.74 m ²)	2,062.02 m ² (475.74 m ²)	0 m ² (0 m ²)
	分 署	753.82 m ²	753.82 m ²	0 m ²
	出 張 所	224.68 m ²	224.68 m ²	0 m ²
動 産	消 防 自 動 車	16台	16台	0台
	救 急 自 動 車	4台	4台	0台
	その他の車両	5台	5台	0台
	原動機付自転車	6台	6台	0台
	舟 艇	7艇	7艇	0艇
	小型動力ポンプ	3台	3台	0台
	フロートジェットポンプ	1台	1台	0台
	津波・大規模風水害 対策資機材	1式	1式	0式
	動力油圧救助器具	1式	1式	0式
	電動油圧救助器具	2台	2台	0台
	高度救助用資機材	1式	1式	0式
	空気拡張式テント	1式	1式	0式
	高機能消防通信指令 施設	1組	1組	0組
	消防救急デジタル無 線施設	1組	1組	0組
	署内ネットワーク設備	1組	1組	0組
	総合通信ネットワーク 設備	1組	1組	0組

備考 1 ()内は、訓練塔、別棟倉庫、車庫

2 出張所用地については、飛島村から借用(500 m²)

出張所建物は、建築面積224.68 m²のほか飛島村から200 m²
(飛島村消防団車庫)を借用し、延べ面積424.68 m²であります。

5 令和4年度当初予算について

(1) 予算編成における基本的な考え方

国は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、新たな変異株の出現による感染拡大への懸念が生じていることから、新型コロナウイルス感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があるとした上で、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトとする新しい資本主義の実現を目指すとしています。

令和4年度においては、この国の経済財政運営の動向を注視し、情報収集に努め、適宜適切に対応していく必要があります。

当組合では今年度にタンク車及び救急車、令和7年度に高所放水車の更新となります。消防指令業務に関しては、令和7年度からの名古屋市、瀬戸市、尾張旭市、津島市、愛西市、蟹江町及び海部東部消防組合との共同運用開始が控えています。さらには、職員・消防車両等を津波災害から守るための新庁舎建設に令和3年度から4か年計画で取り組んでおり、今まで以上に厳しい財政運営が求められます。

当組合の財政構造は、一般会計予算では歳入において、構成市村からの負担金が80パーセントを超えており、他の歳入についても財政調整基金からの繰入金、繰越金、財政調整基金の利子といったもので、これらも実質的には構成市村からの負担金によるものであります。当組合で自主財源と言えるものは、手数料としての危険物関係事務手数料と、諸収入としての高速自動車道路救急業務助成金で、予算に占める割合は3パーセント程度です。歳出では、給料、職員手当等、共済費といった人件費の割合が75パーセントを超えています。

当組合が所有している不用な物品の売却等 様々なアイデアを活かした自主財源の確保に積極的に取り組むとともに、他の自治体の事例を参考に、歳入獲得手段について広く検討を行い、柔軟な発想で、零細な収入についても、なおざりにすることなく、これまで以上に収入の増加に努めます。

日頃からコスト意識を強く持ち、社会経済情勢や住民ニーズの的確な把握を徹底するとともに、創意工夫と柔軟な発想を持って、住民サービスの向上を図りながら、費用対効果や効率性などを見極め、経費や事務の無駄を省くことを心掛けます。

消防指令センター特別会計では、消防指令業務の更なる円滑化を積極的に推進するため、海部地方消防指令センター運営の効率化に努め、迅速的確な災害情報を消防業務に反映させるための体制構築に取り組み、地域住民の安全安心に寄与するよう施策展開します。

(2) 一般会計歳入歳出予算の状況

ア 歳入予算の状況

歳入予算を科目別に対前年比較で表したものが第8表であります。歳入予算は、構成市村からの分担金及び負担金が82.9パーセントを占め、その他としましては、使用料及び手数料（危険物施設の許可等の手数料）、財産収入（基金利子）、繰入金（財政調整基金からの繰入金、財務書類作成支援業務に係る特別会計分）、繰越金（前年度繰越金）、諸収入（高速自動車道路救急業務助成金）、組合債（消防指令業務の共同運用整備事業負担金）です。

第8表 令和4年度一般会計歳入予算規模の対前年度比較

(単位：千円)

科 目	令和4年度 当初予算額 (A)	令和3年度 当初予算額 (B)	比較増減 差引 (A) - (B)
分担金及び負担金	933,000	940,000	△7,000
使用料及び手数料	25,651	22,590	3,061
国庫支出金	14,901	2	14,899
県支出金	1	1	0
財産収入	18	31	△13
寄附金	1	1	0
繰入金	91,525	30,413	61,112
繰越金	40,000	35,000	5,000
諸収入	11,041	8,941	2,100
組合債	8,900	0	8,900
合 計	1,125,038	1,036,979	88,059

イ 歳出予算の状況

歳出予算を科目別に対前年比較で表したものが第9表です。歳出予算が最も多いのは、消防費で全体の85.6パーセントを占め、次いで総務費14.1パーセントとなっています。

経費の内容は、人件費が75.3パーセントで、残りの24.7パーセントは、物件費、維持補修費、補助費、普通建設事業費及び繰出金です。人件費以外で主なものは、被服貸与品5,593千円、新庁舎建設に係る実施設計業務委託料56,112千円、消防指令業務の共同運用に係る整備事業負担金9,313千円、愛知県消防学校教育に係る負担金等1,643千円、タンク3号車の更新62,000千円、救急1号車更新35,000千円及び海部地方消防指令センター運営に係る特別会計への繰出金20,507千円です。

第9表 令和4年度一般会計歳出予算規模の対前年度比較

(単位：千円)

科 目	令和4年度 当初予算額 (A)	令和3年度 当初予算額 (B)	比較増減 差引 (A) - (B)
議 会 費	459	459	0
総 務 費	158,588	124,998	33,590
消 防 費	962,491	909,007	53,484
予 備 費	3,500	2,515	985
合 計	1,125,038	1,036,979	88,059

(3) 消防指令センター特別会計歳入歳出予算の状況

ア 歳入予算の状況

消防指令センター特別会計の歳入予算は、第10表のとおりです。分担金及び負担金は、津島市、愛西市、蟹江町及び海部東部消防組合からの負担金です。繰入金は、当組合一般会計からの繰入金です。諸収入については、預金利子、雑入です。

第10表 令和4年度消防指令センター特別会計歳入予算

(単位：千円)

科 目	令和4年度 当初予算額 (A)	令和3年度 当初予算額 (B)	比較増減 差引 (A) - (B)
分担金及び負担金	81,093	73,482	7,611
国 庫 支 出 金	1	1	0
繰 入 金	20,507	16,383	4,124
繰 越 金	1	1	0
諸 収 入	2	2	0
合 計	101,604	89,869	11,735

イ 歳出予算の状況

消防指令センター特別会計の歳出予算は、第11表のとおりです。主なものは、海部地方消防指令センターから各消防本部及び署所への指令情報等の送受信光ネットワーク専用回線料6,468千円、消防通信指令設備保守委託料53,062千円及び消防救急デジタル無線保守委託料18,913千円です。

第11表 令和4年度消防指令センター特別会計歳出予算

(単位：千円)

科 目	令和4年度 当初予算額 (A)	令和3年度 当初予算額 (B)	比較増減 差引 (A) - (B)
消防指令センター費	96,589	84,854	11,735
諸 支 出 金	15	15	0
予 備 費	5,000	5,000	0
合 計	101,604	89,869	11,735

むすび

以上、令和3年度の予算及び令和4年度の当初予算を中心に説明してまいりました。

社会状況、経済状況は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、将来を見通すことが非常に困難な時代へと入ってきました。また、税金の使われ方に対する住民の関心も高く、受益と負担に対する不公平感も顕在化しています。構成市村からの負担金も厳しさを増す中、簡素にして効率的な行政の実現を目指し、行政の制度、運営について不断かつ徹底した見直しを行い、改革合理化を着実に進めていきます。

以上、あらましについての説明を終えるにあたり、地域住民の皆様の生命、身体、財産を守るのが消防の使命と心得、この地域が、安全で住み良い街であるように、職員一同の全精力を挙げ確実な消防行政を進めて参りたいと考えております。どうか、消防行政に深い御理解と御支援、御協力をいただきますようお願いいたします。